



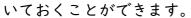
秋田県立視覚支援学校オリジナルキャラクターのチューモくんです。

このシリーズでは、本校の相談支援活動でよく耳にする、生活上の不便さに関する話題から、対応策を紹介して喜んでいただけたものを紹介していきます。

見えない・見えにくいと、出かけた先で、持ち物をつい置き忘れたり迷子にしたりしがちです。それを防ぐためには、できるだけ体から離さずに置きたいですね。

百円ショップで、「バッグハンガー」という商品を見付けました。

テーブルに縁に引っかけて、かばんなどを吊しておくグッズです。これを使えば、 隣の席が空いていないなど、かばんを置く場所に悩むときでも、なるべく身近に置



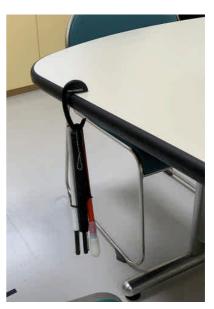




キーチェーンが付いていて、かばんの取っ手など に取り付けておけますので、持ち忘れたり、かばん の中から探し出したりする手間も省けて使いやすい のではないでしょうか。



また、折りたたみ白杖を、たたんだ状態でぶら下げておくことができるので、長い白杖の置き場に困ることなく身近に置くこともできます。



視覚障害者用に開発された高価な支援機器でなくても、自分にとって使いやすい道具を探すと、生活の中のちょっとした困りごとを解決することができます。

使い勝手は、それぞれの人によるので、「絶対にこれが一番」 というものはありません。紹介した商品を参考にしながら、自 分にとって使いやすいものを探してみてください。

